

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	母性健康管理推進支援事業			担当部局	雇用均等・児童家庭局			作成責任者
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	職業家庭両立課			職業家庭両立課長 蒔苗 浩司
会計区分	労働保険特別会計労災勘定			政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号			関係する計画、通知等	妊娠中及び出産後の女性労働者が保健指導又は健康診査に基づく指導事項を守ることができるようにするために事業主が講ずべき措置に関する指針(平成9年労働省告示第105号) 少子化社会対策大綱(平成27年3月20日閣議決定) 健やか親子21(第2次)(平成26年度策定)			
主要政策・施策	少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性労働者の特性に見合った健康管理対策、特に母性の健康管理指導等を実施し、もって労働災害の防止等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	母性健康管理サイトを引き続き運営し、相談対応や情報提供を行う。女性労働者や事業主に対し、母性健康管理の実態やその措置に関する調査等を実施し、専門家による検討を行った上で、その検討結果を踏まえつつ、周知・啓発のための資料の作成・配付を行い、女性労働者・事業主等に対し、母性健康管理に関する情報提供、周知・啓発を実施する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	36	36	35	34	34	
	執行額	29	30	31				
	執行率(%)	81%	83%	89%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	メールによる相談者でアンケートに回答した者のうち、相談に対する回答が役に立ったとした者の割合90%以上	メールによる相談者でアンケートに回答した者のうち、相談に対する回答が役に立ったとした者の割合	成果実績	%	87.5	98.4	93.9	
			目標値	%	60	70	80	90
			達成度	%	145.8%	140.6%	117.4%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	母性健康管理サイトのアクセス数	活動実績	件	560,340	531,152	1,095,130		
		当初見込み	件	490,000	500,000	530,000	1,000,000	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額(千円)(X) / 母性健康管理サイトのアクセス数(Y)	単位当たりコスト	円	51	57	28	34	
		計算式	X/Y	28,546千円 / 560,340件	30,040千円 / 531,152件	31,184千円 / 1,095,130件	34,355千円 / 1,000,000件	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	委託費	34	34					
	計	34	34					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	男女雇用機会均等法で定める母性健康管理に係る事業主の義務が適切に履行されるため、女性労働者・事業主に対し情報提供・周知啓発を実施して、労働災害の防止を図る本事業の目的は、国民や社会のニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、女性労働者の特性に見合った健康管理対策、特に母性の健康管理指導等を実施し、もって労働災害の防止等を図るためのものであり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、母性健康管理を推進する事業であり、労働災害の防止という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は一般競争入札により決定しており、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業は、事業主から徴収した労働保険料を財源に、女性労働者や事業主に対して母性健康管理に関する情報提供、周知・啓発を行っており、労働災害の防止等に資するものであり、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札により契約額を決定し、事業目的が達成されるよう、ウェブサイトの内容の工夫や周知に努めているので、単位当たりのコストの水準は妥当なものである。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は、妊娠中の女性労働者や事業主に対する母性健康管理に関する情報提供、周知・啓発のための経費のみで構成されており、必要最低限のものとなっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	当初予定していた全事業につき、受託者と効率的な事業執行を図ったため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	受託者と効率的な業務執行を図っている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標を達成しており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	直接実施するよりも、民間団体のノウハウを活かし、効果的に実施できている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みを上回る活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	母性健康管理サイトのアクセス数は当初見込みを上回る実績となっており、周知広報効果が高いと評価できる。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、母性健康管理制度の活用を十分に図るため、労働者が就労している現場に即した、具体的で効果的な資料の作成を行うとともに、周知広報を行う事業であり、成果目標「メールによる相談者でアンケートに回答した者のうち、相談に対する回答が役になったとした者の割合80%以上」に対し、93.9%(26年度実績)で目標を達成している。また、活動実績についても当初見込みを大きく上回っていることから、効果的に事業を実施できている。			
	改善の方向性	母性健康管理の実態やその措置について、引き続き様々な視点で調査研究を行い、女性労働者及び事業主への周知・啓発に活かしていく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
母性健康管理サイト http://www.bosei-navi.go.jp/					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	35
平成25年度	400	平成26年度	403		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 31百万円

【事業管理、受託者への指導】



【一般競争入札(総合評価落札方式)・委託】

A. 一般財団法人女性労働協会
31百万円

【母性健康管理推進支援事業を実施】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.一般財団法人女性労働協会			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	諸謝金、旅費、印刷製本費、サイト運営費等	28			
	管理諸経費	リース料、通信運搬費	1			
	消費税		2			
	計		31	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人女性労働協会	母性健康管理に関する調査・周知・啓発	31	1	94%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					